

アスリートの夢を応援しませんか？



アスリートと企業をつなぐ

アスリート・ジョブサポートぐんま

(略称：アスジョブぐんま)

●アスジョブぐんまとは・・・

競技を続けながら本県で就職を希望するアスリートの求職と、県内企業からの求人の申込みをマッチングさせ、双方にとってメリットのある就職を支援します

●アスリートを雇用すると・・・

○選手が活躍！→企業PRやイメージアップにつながります

○所属アスリートをみんなで応援→社員の一体感が高まります

アスジョブぐんまに関するお問合せはこちら

アスリート・ジョブサポートぐんま  
群馬県地域創生部スポーツ局スポーツ振興課内  
TEL：027-226-2082 FAX：027-243-3211  
E-mail：sposhinka@pref.gunma.lg.jp

〒371-8570  
群馬県前橋市大手町1-1-1 スポーツ振興課内

ホームページ

アスジョブぐんま

検索

QRコード  
読み取りは  
こちら⇒



# 群馬県で働きながら活躍するアスリート

## 軟式野球 四ツ谷 良輔 関東西濃運輸株式会社

勤務内容：営業  
プロフィール  
埼玉県出身

深谷商業高－愛媛マングリンパイレーツ（四国アイランドリーグ）  
第74回国民体育大会出場



できるだけ野球を続けていきたいという思いがあった中で、現在の会社を先輩から紹介していただき、就職しました。

今の業務内容は営業です。野球を通じて培ったコミュニケーション能力を生かし、一社会人として立派になれるよう、日々取り組んでいます。

競技面では、平日週2日練習、土日で練習・試合をしています。上司の理解もあり、仕事と競技を両立しやすい環境を整えてもらっており、試合の際には、会社の応援団が応援に来てくれます。そういった会社の期待に応えられるよう、今後もチームとして1つでも多く全国の舞台を踏むことを目標に努力していきます。



左：牧村支店長、右：四ツ谷選手

### 企業の声

関東西濃運輸株式会社 高崎支店 支店長 牧村 恵二

四ツ谷さんは野球で培った「周りを見る力」が優れており、仕事でもそれを発揮してくれています。野球部が結果を残してくれることで、企業のイメージアップにつながり、社員が一体となって応援することで、団結力も生まれます。競技引退後も、仕事で企業に貢献してくれる社員が多く、スポーツは人材育成の面でも重要な要素だと感じています。

## アーチェリー 大塚 謙史 株式会社拓新

勤務内容：建設業  
プロフィール

群馬県高崎市出身  
高崎商大附高－同志社大  
第74回国民体育大会出場



大学卒業時に、これで競技人生を終わらせて良いのかという葛藤があった中で、社長に「実業団のアーチェリーチームを組まないか」と声をかけてもらい、就職しました。

仕事としては、主に現場で建物などの建設を行っており、スポーツを通じて培ったコミュニケーション能力を大事にしながら業務に取り組んでいます。

競技面においては、会社から練習場所の提供や遠征費等の支援、スケジュール調整などの配慮をしていただき、大会へ臨む環境を整えてもらっています。取引先の企業の方から応援の言葉をいただくこともあり、励みになっています。

これからは、会社の名前を背負って日本代表に入ることを目標に、仕事を続けながら、競技を続けられる環境があるということを多くの皆さんに知ってもらうために日々努力を続けていきたいと思っています。



左：大塚選手、右：新木代表

### 企業の声

株式会社拓新 代表取締役 新木 育雄

大塚さんは仲間作りが得意で、それが仕事でも生かされています。競技だけの人間にはなっていないという思いがあり、仕事と競技を両立できる人間形成を目標としています。アーチェリーに限らず、社員が趣味やスポーツをしながら本当に楽しいと思って働ける環境作りを目指しています。

## 陸上（長距離） 西原 加純 株式会社ヤマダ電機

勤務内容：店舗営業の補助支援  
プロフィール

京都府出身  
宮津高（京都）－佛教大  
2015年世界選手権出場  
第73回国民体育大会出場



大学卒業後も競技を続けるにあたって、指導面での環境を整えてもらえるということで、就職しました。

仕事としては、現在は週に1～2日、店舗での品出しやレジ補助などをしています。仕事をする中で、社会性が養われ、競技以外の人間関係も広げることができています。

競技面では、多くの合宿に行かせてもらっており、競技にも集中できる環境を提供してもらっています。駅伝などでテレビに映り、企業のアピールができたときには、企業所属アスリートとして貢献できたことを嬉しく思います。

今後は、会社の看板を背負って、世界の舞台で戦える選手になることを目標に、仕事と両立しながら取り組んでいます。

### 企業の声

株式会社ヤマダ電機 人事総務本部 人事室 採用部 副部長 金子 利昭

西原さんを始めたとした陸上部員が活躍することによって、社員の誇りになり、励みになっています。

また、社会貢献活動として、教育支援や地域のイベントに参加することもあります。スポーツを通じて地域に根ざした活動をする中で、地元の方々が応援してくれるようになり、それが企業の大きな活力になっています。



左：金子副部長、右：西原選手

## ●アスジョブぐんまの対象者

### 対象(アスリート)

- ・原則として、（公財）群馬県スポーツ協会に加盟している団体の競技に取り組んでいる者
- ・採用予定年度から過去4年間のうちに、全国規模のスポーツ大会で8位以内の成績を収めた者
- ・就職後も全国大会や国際大会での活躍を目指しており、競技引退後は指導者として後進の育成・指導を希望する者

### 対象(企業)

- ・県内に本社又は事業所を有し、アスリートの競技活動に配慮できる企業

スポーツを通じて「群馬」を元気にします！